

社会（2年歴史） 評価計画

①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度

指導単元	観 点	単元の評価基準 学習評価表	具体的評価目標 おおむね満足 B	評価方法 場面
<p>第3章 近世 武家政権の展開 と世界の動き</p> <p>第1節 大航海 によって結び付 く世界</p> <p>第2節 戦乱か ら全国統一へ</p>	<p>①、 ②、 ③</p>	<p>①ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解させる。</p> <p>①江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。</p> <p>①産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。</p> <p>①社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。</p> <p>②交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>②近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>③近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>①鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。</p> <p>①南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。</p> <p>①農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。</p> <p>②武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>① 中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>ワークシート 小テスト・レ ポート等 定期試験 学習ドリルソ フトの活用 授業観察 提出物 発表</p>
<p>第4章 近代国家の歩み と国際社会</p>	<p>①</p>	<p>①欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立</p>	<p>①欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてア</p>	<p>ワークシート レポート 学習ドリルソ</p>

第1節 欧米諸国における「近代化」	<p>させてアジアへ進出したことを理解させる。</p> <p>①開国とその影響，富国強兵・殖産興業政策，文明開化の風潮などを基に，明治維新によって近代国家の基礎が整えられて，人々の生活が大きく変化したことを理解させる。</p>	<p>ジアへ進出したことを理解している。</p> <p>①開国とその影響，富国強兵・殖産興業政策，文明開化の風潮などを基に，明治維新によって近代国家の基礎が整えられて，人々の生活が大きく変化したことを理解している。</p>	<p>フットの活用 その他提出物 小テスト 定期試験 発表 授業観察 等</p>
第2節 開国と幕府の終わり	<p>①自由民権運動，大日本帝国憲法の制定，日清・日露戦争，条約改正などを基に，立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに，我が国の国際的な地位が向上したことを理解させる。</p>	<p>①自由民権運動，大日本帝国憲法の制定，日清・日露戦争，条約改正などを基に，立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに，我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。</p>	
第3節 明治政府による「近代化」の始まり	<p>①我が国の産業革命，この時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などを基に，我が国で近代産業が発展し，近代文化が形成されたことを理解させる。</p>	<p>①我が国の産業革命，この時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などを基に，我が国で近代産業が発展し，近代文化が形成されたことを理解している。</p>	
第4節 近代国家への歩み	<p>②工業化の進展と政治や社会の変化，明治政府の諸改革の目的，議会政治や外交の展開，近代化がもたらした文化への影響，経済の変化の政治への影響，戦争に向かう時期の社会や生活の変化，世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。</p>	<p>②工業化の進展と政治や社会の変化，明治政府の諸改革の目的，議会政治や外交の展開，近代化がもたらした文化への影響，経済の変化の政治への影響，世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。</p>	
第5節 帝国主義と日本	<p>③近代前半の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>③近代前半の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	
第6節 アジアの強国の光と影	<p>③近代前半の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>③近代前半の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	